

会 議 録

会議の名称	平成２５年度第２回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成２５年１０月２８日（月） 開会：午後８時３０分 閉会：午後５時００分
開催場所	宮代町市民活動サポートセンター、行田市役所３階３０５会議室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、 関川忠彦委員、鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、 中村博行委員（代理：茂木幸蔵）、村澤洋委員、稲葉誠一委員、 長谷川龍委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、 矢本政子委員、浅見知正委員、加藤修委員（市役所での会議のみ）
欠席者氏名	齋藤貴美子委員、栗本広宣委員、矢部正オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 <宮代町市民活動サポートセンター及び車中にて> １ 開会 ２ 委員長挨拶 ３ 議題 （１）視察について （２）視察：宮代町市民活動サポートセンター （３）意見及び情報交換 <市役所３０５会議室にて> （４）意見及び情報交換 （５）（仮称）市民公益活動推進基本計画策定について （６）その他 ４ 閉会
会議資料	平成２５年度第２回行田市市民公益活動推進委員会次第 しおり：先進地視察バスツアーＩＮ「宮代」 平成２５年度第１回行田市市民公益活動推進委員会会議録 （仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定作業グループ 平成２５年度第２回行田市市民公益活動推進委員会座席表 （仮称）行田市市民公益活動推進基本計画骨子 （仮称）行田市市民公益活動推進基本計画骨子（目標ごと）

その他必要 事 項	傍聴者２名（委員長が委員会に諮ったうえで、市役所での会議よりオブザーバーで参加）
----------------------	---

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委員長 司 会 議 長 事務局 宮代町	－宮代町市民活動サポートセンター視察への車中にて－ 1 開会 中村委員より代理人選任届が「茂木幸蔵」氏で提出されている旨、報告。 2 委員長挨拶 3 議題 ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。 ・議題（１）「視察について」事務局より説明をお願いする。 ＜各委員より事前提出のプロフィールカードに基づき、現在活動を始めたきっかけや行田の「まち」の課題、市民公益活動が活発になるために何ができるかなど順番に発表した。＞ ＜議題（２）視察：宮代町市民活動サポートセンター＞ －宮代町市民活動サポートセンターにて－ ＜「宮代町総務政策課協働推進室長グループ 野口室長」及び「宮代町市民活動サポートセンター指定管理者ＮＰＯ法人ＭＣＡサポートセンター 渡辺代表」より宮代町の今までの市民参加、協働に関する取り組みについて説明を受けた後、質疑を行った。 【主な質疑は次のとおり】 Q 指定管理者は公募したのか。 A センターを設置する経緯もあり、１者特命随契である。 Q センターに町職員は出向しているのか。 A 町職員の出向はない。 Q センターへの登録団体数は。 A ６０団体でそのうちＮＰＯ法人が４団体である。 Q 登録団体から会費等を徴収しているのか。 A 会費は発生せずロッカー使用料のみである。あくまで、登録団体や市民が出会う場所を提供しているのみである。 Q 「公募制補助金制度」の分野別とは。 A あくまで、市民等の自分達の楽しみのために補助するのではないため、行政が市民等に手伝ってほしいメニューを、行政の分野別に

作ったものである。

Q 若い人に対してマッチングさせる上で考えていることは何か。

A 「ゆるカフェ」というイベントを新たに企画した。

Q 登録団体で多い分野は何か。

A 生涯学習の分野が多い。

Q センターができて、市民反応はどうか。

A センターに来れば情報があるため、市民の反応はよい。

Q センターの認知度はどうか。

A まだまだ低いと考えている。

Q 「みつば祭り」とは。

A 市民活動の見本市である。

Q 「やりたいゾウ」について、詳しく知りたい。

A 町民や町民以外の人でもやりたいことを登録できる制度である。昨年リニューアルした際、ただ単に登録するのではなく、活動に対し積極的な人の登録を進めている。

Q センターの1日あたりの利用者数は。

A 50人程度である。登録団体よりも予約の必要がないフリースペースの利用が多い。

Q センターの今後の課題ややりたいことは何か。

A 繋がりきっかけとなる講座を、さいたま市のさいたまNPOセンターと一緒に行う予定であるが、活動していない人との関わりが課題と考えている。

Q コーディネートをする上で気をつけていることは。

A 登録用紙に記入されていないことをいかに聞き出すかである。

Q 職員への協働への意識はどうか。

A 21年度～22年度にかけて意識啓発は行った。イベントでの協働はあるが、全庁的に職員への意識の格上げは課題と考えている。

ー宮代町市民活動サポートセンターからの帰りの車中にてー

<議題(3)意見及び情報交換視察>

<スピーチカードにより、各委員が、視察で感じたことや気づいたこと、今後それをどう生かしていくかなどについて発表した。>

【主な意見】

	*活動をしていく上で、集える場所や支援する拠点は必要である。 *拠点もただあればではいいのではなく、人材も重要である。 *行田では、コミセンみずしろを拠点にし、交流が広がるようにすべきである。 *人の掘り起こしをしていく必要がある。 *横の繋がりが重要と感じた。 *補助金に頼らない団体の育成が必要。 *やる気のある市民の取り込み方は参考になった。 *「やりたいゾウ」のような仕組みがあると便利である。 *行政主体ではなく、NPOに任せるのがよい。今後は民間も積極的にまちづくりに関わっていくべきである。 *行政と指定管理者の信頼関係がすごい。行田にどういう形で生かしていくか考える必要がある。 *センターの指定管理をNPOが行っており、同じNPO目線というのはよい。 *コミセンを拠点とし、コーディネーターあるいはコンシェルジュとしてのスキルを持ったスタッフを常駐させるべきである。 *市民の意識を練り上げながらやっていく必要がある。 ー市役所305会議室にてー
議 長	・議題に入る前に、皆さんにお諮りしたい。これから市民公益活動推進基本計画を策定していく上で、若い人が市民公益活動やまちづくりに対しどういった考えを持っているのか、また、それを計画にどう生かすのかも重要と考える。そこで、ものづくり大学大学院生の2名をオブザーバー参加させたいと考えるとどうか。
委 員	(異議なしの声)
議 長	・それでは、2名には、今後、当委員会にオブザーバーとして参加いただく。
議 長	・続いて議題(4)「意見及び情報交換」及び(5)「(仮称)市民公益活動推進基本計画策定について」を事務局から説明をお願いする。

事務局 議 長 司 会	・議題（４）「意見及び情報交換」及び（５）「（仮称）市民公益活動推進基本計画策定について」説明。 ＜目標ごとの５グループに分かれて、策定作業を行った＞ ・今日で全てまとめる必要はないが、今後は各グループで必要に応じ集まっていただくなどして策定作業を進めていただきたい。 ・次回委員会で、まずはグループごとに発表していただき、意識や方向性の共有を図りたいと考える。 ・以上で、本日の議題を全て終了する。 ・以上で、平成２５年度第２回行田市市民活動推進委員会を閉会とする。
----------------------------------	---